

田川から世界の舞台へ



①日の丸を背負って健闘を称える日本代表選手（右端が有田選手）②スタート前に集中力を高める有田選手③二場市長に世界大会出場を報告しました

本市出身の大学生である有田詞音（ありたしおん）さんが、U20（20歳未満）第38回日本陸上競技選手権大会で準優勝（400m / 自己ベスト46秒58）を収め、日本代表選手に決定。8月1日～9日に南米のコロンビアで開催された「カリ2022 U20世界陸上選手権大会」に出場しました。大会では、日本代表チームが1,600mリレー決勝で6位入賞。個人でも400mで準決勝まで勝ち進むなど世界の舞台で実力を発揮しました。

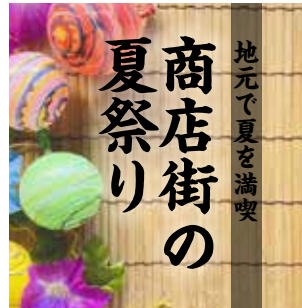
世界大会での経験をバネに有田さんが目指すのは、3年後の世界陸上東京大会。「必ず出場権を獲得したい」と日々ハードな練習で己を鍛えています。



PROFILE 有田 詞音 選手

金川中学校在学時に地元のクラブで陸上を始める。進学した近畿大学付属福岡高校、九州共立大学でも陸上部に所属し、国内や世界の大会で活躍している。

後藤寺商店街 サンシャイン通り納涼夜市



7月30日に伊田商店街で「いたまち祭り」が、7月30日と8月6日に後藤寺商店街で「サンシャイン通り納涼夜市」が開催され、たくさんの方が夏の特別な1日を楽しみました。

両商店街では、地元で活躍している人たちによる演奏や踊りで来場者を歓迎。焼き鳥や焼きそばなどの食欲をそそる香りが漂う中、子どもたちは金魚すくいや輪投げ、射的などの多彩な催しを楽しみました。

伊田商店街 第2回いたまち祭り

